

マン・AHL・ランドマーク

円建／
ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型
外国投資信託

償還交付運用報告書

作成対象期間 第19期
(2017年8月1日～2018年7月3日(ファンドの解散日))



第19期末	
1口当り純資産価格	15,723円
純資産価額	576,469,680円
第19期	
騰落率	-9.52%

(注1) ファンドは分配金を支払っておりません。

(注2) 騰落率は、前期末の1口当り純資産価格との比較です。

運用報告書(全体版)は、代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにおいて電磁的方法により提供しております。

運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社または東海東京証券株式会社までお問い合わせください。

管理会社

**MUFGルクスマネジメント
カンパニーS.A.**

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、管理会社は2018年7月3日をもってマン・AHL・ランドマーク(以下「ファンド」といいます。)を解散^(注)し、同日現在日本の受益者が保有していたファンド受益証券の全口の償還を実施しました。

(注)「解散」の詳細については、3頁の「お知らせ」をご覧ください。

ファンドの投資目的は、AHL分散投資プログラムおよび場合により投資運用会社が選定する複数の独立した運用者の運用するその他の先物戦略に直接的または間接的に投資するか、または投資運用会社が運用する投資信託に投資することにより、受益証券の価額に反映されるおよび／または分配金支払いを通じての中期的な確固とした成長を達成することであり、当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに、最終計算期間である当期間の運用状況をご報告申し上げます。

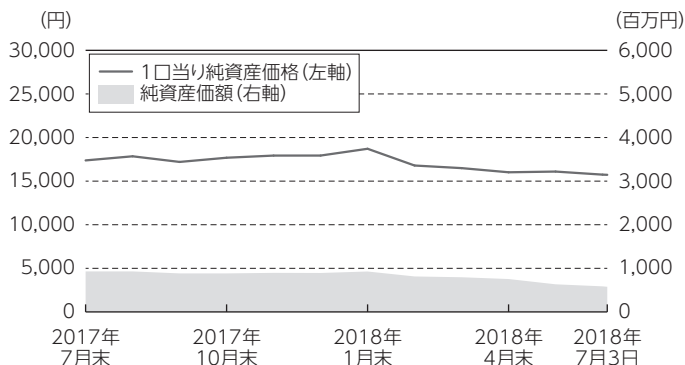
これまでのご愛顧に感謝申し上げます。

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

《運用経過》

【当期の1口当り純資産価格等の推移について】



第18期末の 1口当り純資産価格	17,377円
第19期末の 1口当り純資産価格	15,723円
騰落率	-9.52%
分配金	該当事項はありません。

(注1) 騰落率は前期(第18期)末の1口当り純資産価格を起点として計算しています。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■1口当り純資産価格の主な変動要因

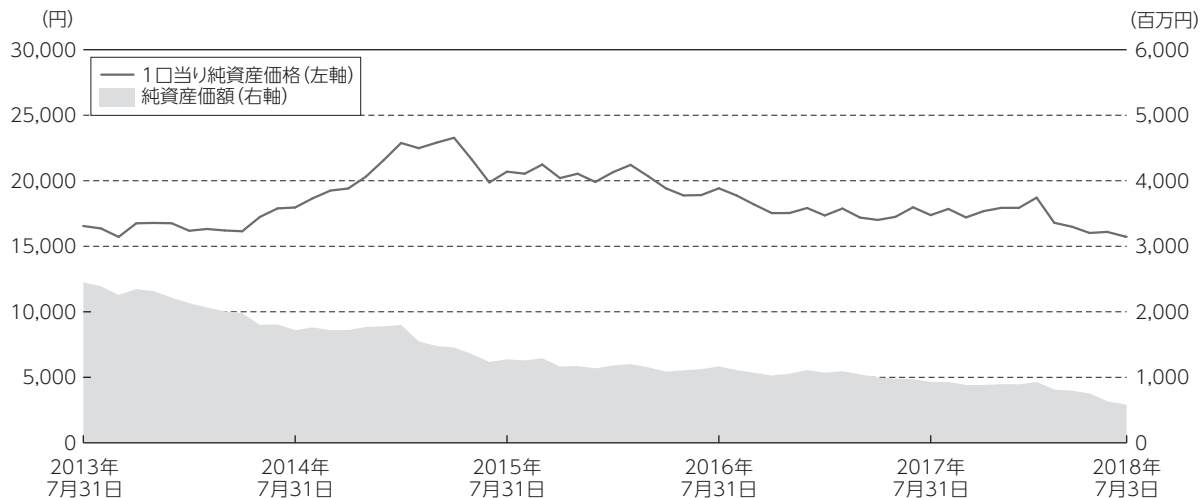
株式、債券およびクレジット・セクターはプラスとなった一方で、通貨およびコモディティ・セクターはマイナスとなり、1口当り純資産価格は結果としてマイナスとなりました。

【費用の明細】

項目	金額または料率	役務の概要
管理会社報酬	各四半期中の毎週の純資産価額の平均の年率0.15%(年間最低40,000米ドル)	約款に従ったファンドの管理および運営業務の対価
投資運用報酬および成功報酬	投資運用報酬は、投資運用会社および運用助言者それぞれに配分された資産の想定評価額に対し最初の61,621口分までは年率3%、61,621口を上回る分には年率2% 成功報酬はそれぞれの新規の純利益の20%	ファンドのポートフォリオ運用業務に対する対価
ブローカー手数料	投資エクスポージャーの年率0.7%を上限とした金額	紹介ブローカーに支払われる紹介ブローカー手数料、資金調達に掛かる金利およびそれに関する報酬を含む、売買取引に伴うすべての費用および仲介手数料
代行協会員報酬	各暦四半期中の平均純資産価額の年率0.25%	ファンドのために行う日本証券業協会が定める代行協会員業務に対する対価
保管・管理事務代行報酬	各四半期中の平均純資産価額の年率0.33%(管理事務代行報酬については年間最低61,000米ドル)	ファンドの全ての財産の保管、ファンドの管理事務ならびに受益証券の発行、買戻し、登録、名義書換および純資産価格の算定等の業務に対する対価
専門家報酬(当期) ^(注)	当期間末の純資産価額の0.78%の金額	ファンドの公認法定監査人への報酬等、および管理会社が受益者の利益のために行為する際に負担した弁護士報酬等
その他費用・手数料(当期間) ^(注)	当期間末の純資産価額の4.35%の金額	公租公課、銀行取引手数料、券面印刷費、開示書類(有価証券届出書および目論見書等を含みます。)、報告書等の作成、提出、印刷、配布費用、公告費用等

(注)「専門家報酬(当期間)」および「その他費用・手数料(当期間)」(解散報酬、その他報酬、サブ・カストディアン報酬および年次税を含む。)には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期間の専門家報酬およびその他費用・手数料の金額をそれぞれファンドの当期間末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1口当り純資産価格等の推移について】



	第14期末 2013年 7月31日	第15期末 2014年 7月31日	第16期末 2015年 7月31日	第17期末 2016年 7月31日	第18期末 2017年 7月31日	第19期末 2018年 7月3日
1口当り純資産価格 (円)	16,546	17,960	20,693	19,422	17,377	15,723
騰落率 (%)	-7.24	8.55	15.22	-6.14	-10.53	-9.52
純資産価額 (千円)	2,449,560	1,719,584	1,275,128	1,166,581	929,211	576,470
1口当り分配金合計額 (円)	-	-	-	-	-	-

(注1) 騰落率は、前期末との比較です。

(注2) ファンドは、運用の目標となるベンチマークに連動して運用、またはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって、ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

【投資環境】

投資環境につきましては、下記「ファンドのポートフォリオ」の記載を御参照下さい。

【ファンドのポートフォリオ】

2017年8月1日から2018年7月3日(解散日)までの期間において、ファンドは9.52%のマイナスでした。株式市場が上昇傾向を続ける中で、米国で金利引上げが行われましたが、特に米国における好調な経済ニュースが続いたことから、当期はボラティリティが低い環境を伴いつつ、リスク資産が総じて上昇する展開で始まりました。このような状況は、2月の最初の週に、株式およびその他リスク資産が値下がりし、ボラティリティが上昇したことにより、一変しました。政治的緊張および世界的貿易戦争への懸念が広がっているため、下半期の残りも市場は引き続きボラティリティが高い状態でした。

最も運用成績の良かったセクターは、主に長期の上昇相場から収益を得た株式指数でした。現物株式取引の運用成績は、主に欧州および日本の損失により当期間を通じてマイナスになりました。クレジットおよび債券はプラスとなりましたが、通貨はマイナスとなりました。原油が当期間にわたり反騰したためエネルギーはプラスの運用成績でしたが、コモディティ取引は農産物および金属における損失によりマイナスになりました。当期間の初めの収穫状況の悪化が大豆価格の急激な高騰をもたらした際に大豆のショート・ポジションを保有していたために、農産物市場が最も運用成績の悪かったセクターとなりました。

【ベンチマークとの差異】

ファンドは、運用の目標となるベンチマークに連動して運用、またはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって、ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

【分配金】

ファンドは分配金を支払っておりません。留保益につきましては、運用方針に基づき運用を行いました。

《今後の運用方針》

該当事項はありません。

《お知らせ》

ファンドの純資産価額が減少し15億円を下回ったため、ファンドの約款第18条に従い、管理会社は、その2018年4月30日付持回り取締役会決議により2018年7月3日をもってファンドを解散することを決定し、同日現在日本の受益者が保有していたファンド受益証券の全口の償還を実施しました。償還金額は、日本における販売会社を通じて2018年7月18日に受益者のみなさまにお支払いしました。

《ファンドの概要》

ファンドの形態	ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国投資信託(円建)
信託期間	ファンドは1999年8月12日に運用を開始し、2018年7月3日に解散しました。
繰上償還	管理会社の決定により、いつでも解散することができます。 ルクセンブルグ法に規定のある場合にも、ファンドは解散されることがあります。 純資産価額が15億円を下回った場合、管理会社はファンドの解散を検討します。
運用方針	AHL分散投資プログラムおよび場合により投資運用会社が選定する複数の独立した運用者の運用するその他の先物戦略に直接的または間接的に投資するか、または投資運用会社が運用する投資信託に投資することにより、受益証券の価額に反映されるおよび／または分配金支払いを通じての中期的な確固とした成長を達成することにあります。
主要投資対象	(i)AHL分散投資プログラムおよび場合により投資運用会社が選定する複数の独立した運用者の運用するその他の先物戦略、(ii)投資運用会社の運用する投資信託、(iii)OECD加盟国の政府により、または公的国際機関により発行される有価証券、(iv)現金、一流の金融機関(保管受託銀行も含まれます。)への要求払預金・定期預金、短期もしくは中期の債券および一流の金融機関の発行する譲渡性預金証券・コマーシャルペーパーから構成される短期金融商品、および企業が発行する債券および手形(ただし、期間、相手方等の十分な分散投資が保証され、現金で保有の純資産価額の最大20%までを一つの相手方に預金できます。)、ならびに(v)マネー・マーケット・ファンドの受益証券／投資証券
ファンドの運用方法	AHL分散投資プログラムおよび場合により投資運用会社が選定する複数の独立した運用者の運用するその他の先物戦略に直接的または間接的に投資するか、または投資運用会社が運用する投資信託に投資することにより運用します。
分配方針	毎年、各会計年度のファンドの資産の新規の純利益(以前の会計年度における損失(もしあれば)控除後)の50%以下の金額を分配することができます。ただし、ファンドは第3会計年度(2001年8月-2002年7月)以降分配を行っていません。 分配金支払の結果、純資産価額が1,250,000ユーロ相当の日本円金額を下回るような場合には分配を行うことができません。

《参考情報》

【代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

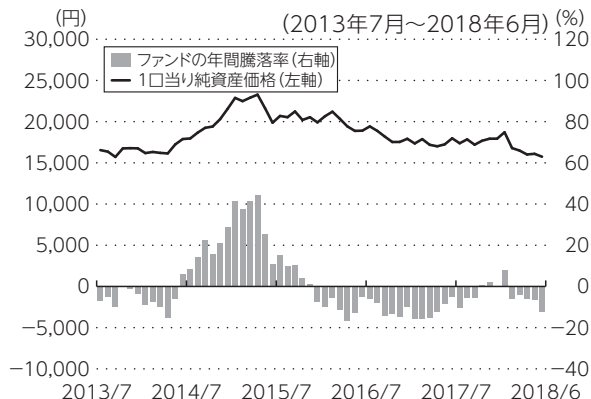
ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、2013年7月～2018年6月の5年間における代表的な資産クラスの指数の各月末の年間騰落率、および同期間におけるファンドの基準価額の年間騰落率の平均、最大、最小値を表示しています。

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

左のグラフは、ファンドの過去5年間に於ける各月末の年間騰落率(各月末の1口当り純資産価格*と当該各月末の1年前の1口当り純資産価格*を対比して騰落率を算出)および1口当り純資産価格*の推移を表示しています。また右のグラフは、過去5年間に於ける代表的な資産クラスの指数の各月末の年間騰落率(各月末の指数と当該各月末の1年前の指数を対比して騰落率を算出)、および同期間におけるファンドの上記各月末の年間騰落率の平均、最大、最小値を表示しています。

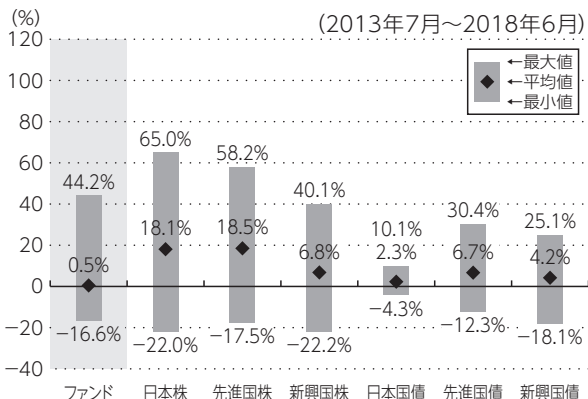
(*)ファンドは第3会計年度(2001年8月～2002年7月)以降分配を行っていないため、1口当り純資産価格の値を用いております。

ファンドの年間騰落率および1口当り純資産価格*の推移



出所：管理会社のデータに基づいて 狛・小野グローバル法律事務所が作成したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



出所：管理会社および指数提供会社のデータに基づいて 狛・小野グローバル法律事務所が作成したものです。

<代表的な資産クラスの指数およびその著作権等について>

資産クラス	指数名	著作権等
日本株	配当込みTOPIX	配当込みTOPIXとは、東京証券取引所市場第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOPIX) に現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は (株東京証券取引所) が有しています。
先進国株	ラッセル先進国 (除く日本) 大型株インデックス (配当込み、円ベース)	ロンドン証券取引所グループにより公表されているインデックスです。ラッセル・インデックスに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権は、ロンドン証券取引所グループに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。
新興国株	S&P新興国総合指数 (配当込み、米ドルベース)	S&P新興国総合指数は、規則に基づく広範な指数であり、世界の新興国株式市場のパフォーマンスを測定します。同指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの商品であり、著作権、この指数の知的財産その他一切の権利は同社に帰属します。
日本国債	FTSE日本国債インデックス	FTSE日本国債インデックスは日本の国債の債券インデックスであり、FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、日本を除く世界主要国の国債の債券インデックスであり、FTSE新興国市場国債インデックス (円ベース) は、主要新興国の国債の債券インデックスです。上記3つのインデックスともFTSE Fixed Income LLCにより運営されているものです。同インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。同インデックスに対する著作権等の知的財産権その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	
新興国債	FTSE新興国市場国債インデックス (円ベース)	

(注) 海外の指数は為替ヘッジをしないこととして、当該指数会社の提供する円ベース指数 (S&P新興国総合指数は米ドルベース) を使用しております。

《本ファンドのデータ》

【組入資産の内容(第19期末現在)】

有価証券等の組入れはありません。

【純資産等】

項 目	第19期末
純 資 産 価 額	576,469,680円
発行済受益証券口数	36,663口
1口当り純資産価格	15,723円

当期間(第19期)における追加設定元本はなし、同買戻し元本は277,143,889円です。

第19期		
販売口数	買戻し口数	発行済受益証券口数
— (-)	16,812 (16,812)	36,663 (36,663)

(注) ()の数()の数)は本邦内における販売・買戻しおよび発行済受益証券口数です。